



爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.2 令和5年4月27日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ~かしこく やさしく たくましい 明神っ子~
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

読書活動

今年度も本校では、「読書活動」に力を入れて取り組んでいます。昨年度から取り組んでいる、朝5分間の「読書タイム」も子供たちの中で習慣となり、1日を「読書」という集中した時間からスタートすることができています。



読書をするると集中力が養われ、脳にも良い影響を与えるといわれています。本には子供たちがまだ知らない単語や漢字、表現が出てきますが、意味がわからなくても前後関係から予測できます。子供たちは、読書をとおして、語い力を高め、想像力や読解力を養っています。

また、読書をする事が多い子供ほど、コミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルが高い傾向にあるという研究報告もあります。最近は、スマートフォンやタブレットといったツールを活用して読書する機会もありますが、「自分のことが好きだ。」とか「自分には自分らしさがある。」といった自己理解力、自己肯定感、本で読書している人が最も高い傾向にあるという報告もあります。

今年度は、全学年とも「読書」だけではなく、「音読」や「暗唱」といった活動にも取り組んでいきます。脳科学者の先生によると「音読で大切なことは『自分の声を聴くこと』」だそうです。声を出す「音読」や「暗唱」によって脳がぐんぐん鍛えられ、読解力の更なる向上が期待されます。

ご家庭でも、ぜひ話題にさせていただき、「読書」に親しんでいただけたらと思います。



安全な登下校



4月24日のまちコミメールや昨日の文書でもお伝えしましたが、本校では登下校時の送迎について、子供たちの安全確保の観点から、校内への車の立ち入りをご遠慮いただいています。これまでに、下校時に正門を出ようとする児童と、送迎のために校内に入ろうとする車が、あわや接触するという場面がみられました。

子供たちにも集会で、「正門や裏門から飛び出さない。」「周囲を確認しながら下校すること。」について注意喚起をし、指導していますが、保護者の皆様にもご協力をお願いします。

命にはやり直しがありません。子供たちの命を守る安全について、「あの時、気になっていたことをきちんとしておけばよかった。」と後悔するようなことは、絶対にあってはならないことだと思っています。朝、「行ってきます！」と元気に登校した子供たちが、元気に「ただいま！」と帰宅する。この当たり前の光景が、何よりも大切なことだと考えます。

これからも、保護者の皆様、地域の皆様と共に、子供たちの安全を守っていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。



ご協力
よろしくお願いいたします

